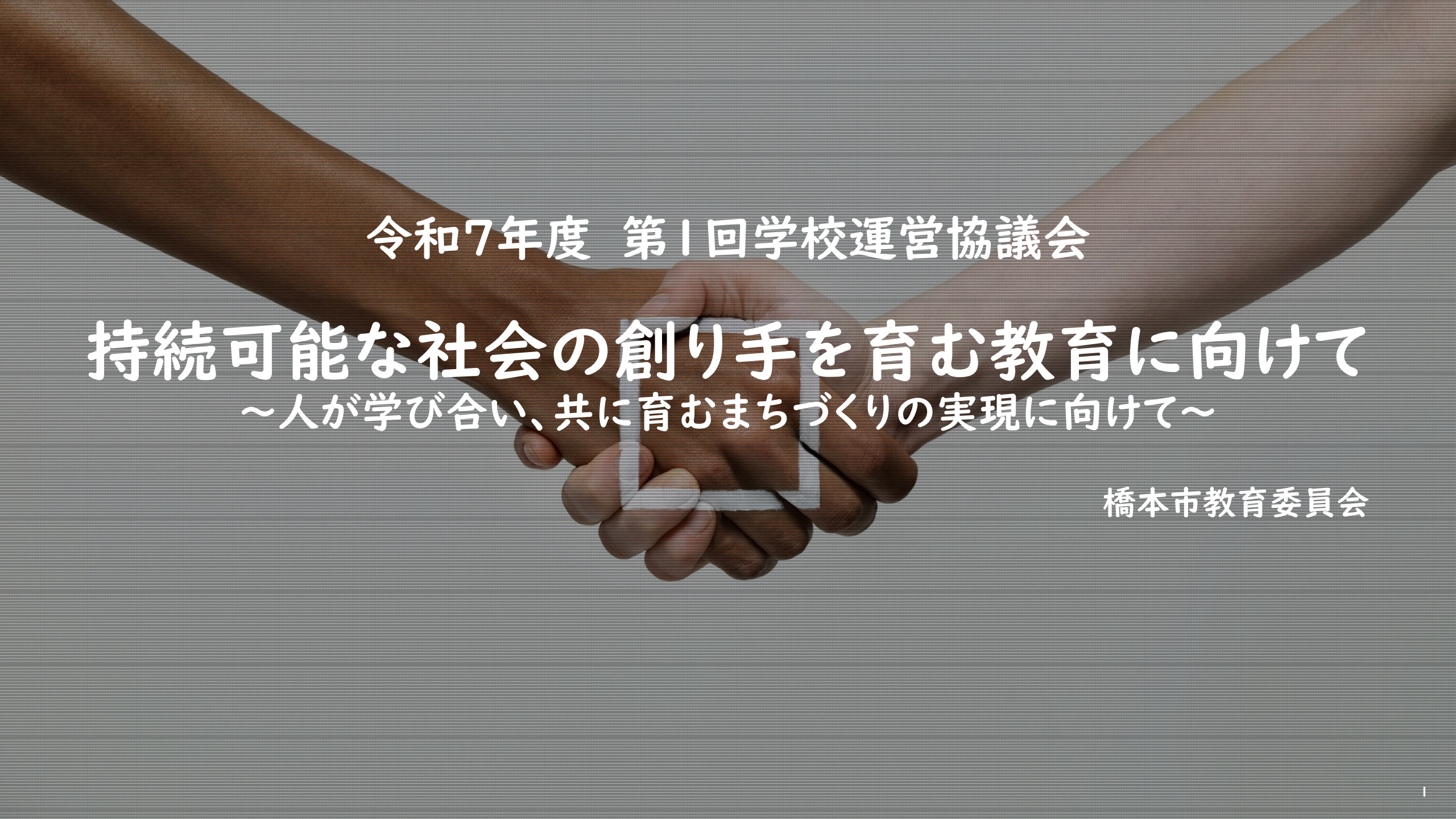


A background image showing two hands, one from a darker-skinned person and one from a lighter-skinned person, shaking in a firm grip. The hands are positioned centrally, with the fingers interlaced. The background is a solid light gray.

令和7年度 第1回学校運営協議会

持続可能な社会の創り手を育む教育に向けて
～人が学び合い、共に育むまちづくりの実現に向けて～

橋本市教育委員会

本日のながれ

はじめに 橋本市教育委員会が目指すもの

1. コミュニティ・スクール 共育コミュニティについて (P7～13)

2. 学校運営協議会の役わり (P15～18)

3. 現状の課題 今後の取り組み (P20～26)

橋本市は「協働によるまちづくり」の取組を推進

橋本市の自治と協働をはぐくむ条例 2019年施行

人が学び合い、共に育むまちづくり
-自治と協働のまち橋本市に向けて-
第3期橋本市教育大綱理念2023~2027

共育コミュニティと学校運営協議会が連携・協働し、
大人も子どもも学びあう場づくりを推進します
第3期橋本市教育大綱 重点目標(12)

学校

コミュニティ・スクール
学校運営協議会

複数の主体

目標を共有

共に力を合わせて
活動する

地域

家庭

教育目標
スクールプラン

共育
一緒に成長

協働
一緒に活動

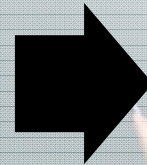
共育コミュニティ
地域学校協働本部事業

持続可能な社会の創り手を育む教育 (SDGs・ESD) を
地域と協働しながら推進します
第3期橋本市教育大綱 重点目標(7)

持続可能な社会の創り手の育成

小学校・中学校学習指導要領（平成29年3月告示）

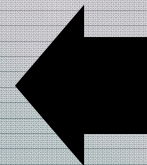
一人一人の児童が
自分のよさや
可能性を認識



あらゆる他者を
価値のある存在として
尊重



豊かな人生を切り開く

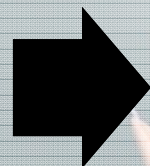


多様な人々と
協働しながら様々な
社会的変化を乗り越える

持続可能な社会の創り手の育成

小学校・中学校学習指導要領（平成29年3月告示）

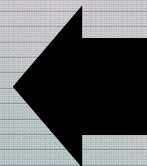
自分の良いところを知る
こんなにできる!!
という可能性を知る



いろいろな周りの人の
良いところを知って
大切にする



夢・目標や希望のある
すばらしい人生を創る



違う学年・学校や地域の人と
一緒になって学び
社会の変化に負けない

本日のながれ

はじめに 橋本市教育委員会が目指すもの

1. コミュニティ・スクール 共育コミュニティについて(P7~13)

2. 学校運営協議会の役わり(P15~18)

3. 現状の課題 今後の取り組み(P20~26)

1.(1) コミュニティ・スクール 学校運営協議会

令和元年度から
市内小学校14校・中学校5校すべて

中核となる役割

地域とともにある
学校づくり

子どもの豊かな学びや育ちを実現していく
地域連携教育

地域住民

学校

学校の困りごとを
一緒に解決していく

学校運営に地域の声を
積極的に生かす

1. (2) 令和6年度学校評価報告書より

共育コミュニティの大きな役割!!

サポート隊

学習支援

登下校安全の
見守り

家庭科
ボランティア

畑での野菜作り

ふるさと学習

昔遊び

エプロン先生

地域とのつながりを
生かした体験学習

子ども応援隊

一斉清掃

クラブ講師

図書室開放

地域人材の紹介

地域の連携

地域みんなのための
共育コミュニティ

1. (3) 共育コミュニティ 地域学校協働本部事業

学校を核とした地域づくりをめざす

学校・家庭・地域が一体となる

子どもも大人も共に育ち育てあう

人と人とのつながりをより深める

暮らしやすく活力のある地域づくりをめざす

1. (4) 橋本市の共育コミュニティ本部

現在14名の
共育コーディネーターが活動

共育コーディネーターとは…
地域と園・学校の間にとって調整する人

- 企画・立案
- 関係者への連絡調整
- ボランティア募集
- 地域住民への情報提供
- 共育コミュニティ本部の事務など

高野口地域 (H20～)

学文路・清水地域 (H21～)

紀見東中学校区 (H26～)

隅田中学校区 (H28～)

紀見北中学校区 (H30～)

山田地域 (H30～)

橋本地域 (H30～)

1. (5) 学校運営協議会と共育コミュニティ

両輪
一体的推進

きのくに
コミュニティ・スクール

学校運営
協議会

共育
コミュニティ

連携と協働

1.(6) 令和6年度橋本市教育委員会の取組

※共コミ=共育コミュニティ CS=コミュニティ・スクール

共育コーディネーター会議
(11回)

橋本市共育コミュニティ
推進協議会

学校運営協議会
(各校4回程度)

学校運営協議会
実施状況調査

橋本市学校運営協議会
連絡協議会

CS・共コミ合同会議
(3回)

橋中区 合同研修会
講師 CSマイスター音無さん

紀見東中学校区
合同研修会
講師 CSマイスター大谷さん

高野口地域
教育機関連携会議

学文路・清水地域
わいわいマルシェ

隅田中学校区
わいわい集会

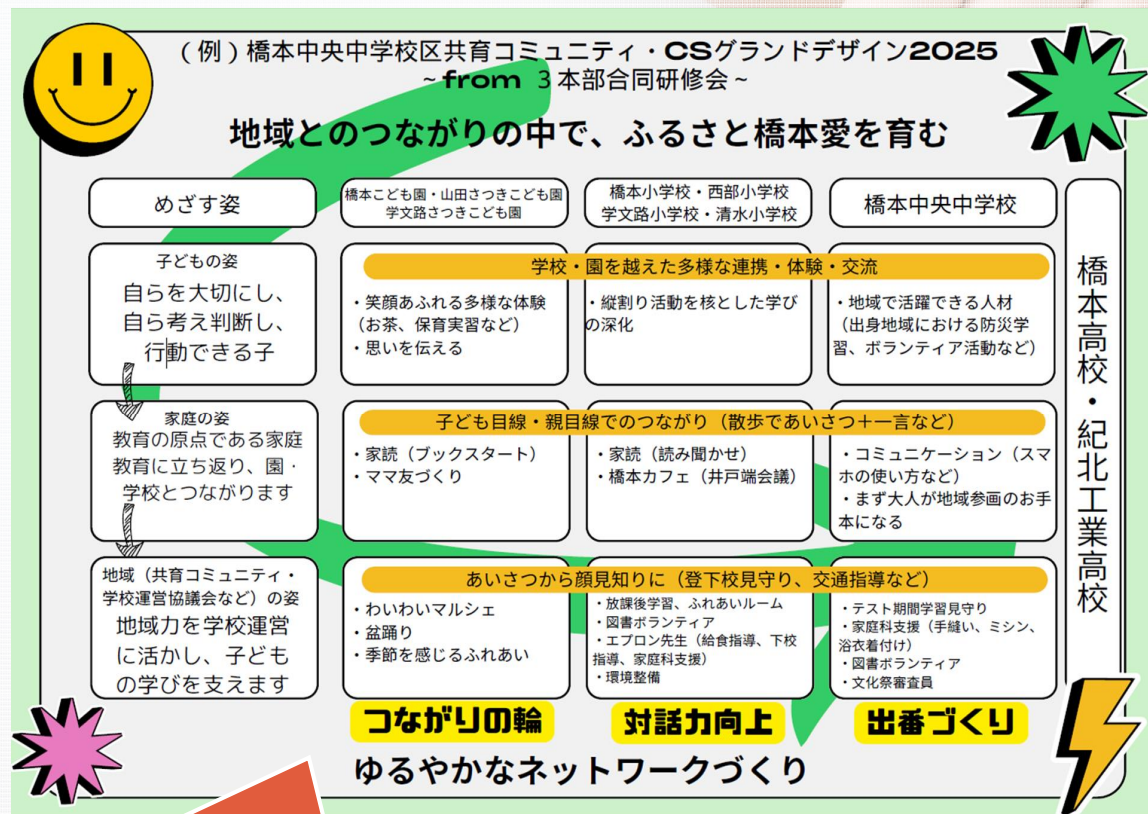
紀見北中学校区
小中交流会

3年次研修
若手教員研修

ランドデザインの
素案作成

ESDティーチャープログラム
(奈良教育大学との連携)

1. (7) グランドデザインとは…



グランドデザイン=全体構造

理想の上での大枠の合意

壮大な図案や設計

長期間にわたって遂行

どんな人に育ってほしいか

中学校区で作成

橋本市教育委員会(教育大綱)

↓
各中学校区(グランドデザイン)

↓
各校(スクールプラン)

ズレない
ぶれない

本日のながれ

はじめに 橋本市教育委員会が目指すもの

1. コミュニティ・スクール 共育コミュニティについて (P7～13)

2. 学校運営協議会の役わり (P15～18)

3. 現状の課題 今後の取り組み (P20～26)

2. (1)
学校運営協議会の役わり
その1

どんな子どもを育てたいか

話し合う・熟議

熟議のテーマをはっきりと

実現に向けての方策を考える

学校運営協議会で出た課題を解決するために
共育コミュニティを活用していく
【両輪・一体的促進】

学校運営協議会は
法律に基づいた合議制の機関
合議…チーム全員で話し合って結論を導く

校長が作成する学校運営の
基本方針を承認する（必須）

2. (2) 学校運営協議会の役わり その2

学校運営について教育委員会または
校長に意見を述べることができる（任意）

教職員の任用に関して、
教育委員会規則で定める事項について
教育委員会に意見を述べる（任意）

2. (3)
学校運営協議会の役わり
その3

外からではなく内から

運営側という意識

学校評価は
私たち委員への評価でもある

令和7年度
きのくにコミュニティ・スクール推進フォーラムより

2. (4) あなたの学校のコミュスク度は？

和歌山県教育委員会 きのくにコミュニティ・スクール ～さらなるステップアップのために～ より抜粋

学校運営協議会を組織し、協議している。

学校運営協議会を具体化するために作業部会を設置している。

学校運営協議会を年に3回以上行っている。

学校運営協議会で当事者意識をもった人が委員になっている。

学校運営協議会で学校のやりたいことや課題を具体的に提案している。

学校の全職員が学校運営協議会や作業部会に所属している。

学校の教育計画にコミュニティ・スクールの視点を盛り込んでいる。

学校運営協議会委員や取り組みの様子について、保護者や地域に公報している。

学校運営協議会による活動が、学校と地域お互いにプラスになっている。

学校運営協議会による活動で、学校に関係する人達の満足度が上がっている。

本日のながれ

はじめに 橋本市教育委員会が目指すもの

1. コミュニティ・スクール 共育コミュニティについて(P7~13)

2. 学校運営協議会の役わり(P15~18)

3. 現状の課題 今後の取り組み(P20~26)

3. (1) 現状の課題

- ①コミュニティ・スクール、学校運営協議会の意義や活動を教職員、地域全体に周知する。
- ②共育コミュニティの意義や活動を教職員、地域全体に周知する。
- ③ESDは学校の取り組み方が二極化している。
- ④地域の高齢化、保護者の参画について。

研修後の感想は
とても前向きなものばかりで
これから取り組もうとする
意欲が感じられた

3. (2) 今後の取組（例）

課題①②③

コミュニティ・スクール、共コミ、ESDに関する教員へのアンケート実施

認知度・活動・考えを把握

①現時点で認知度が低いのではないかとと思われる

②認知度が低い場合は周知の活動が必要

③若手教員向けの研修

→令和6年度実施の3年次研修での成果

→経験の浅い段階で認知しておくことが重要

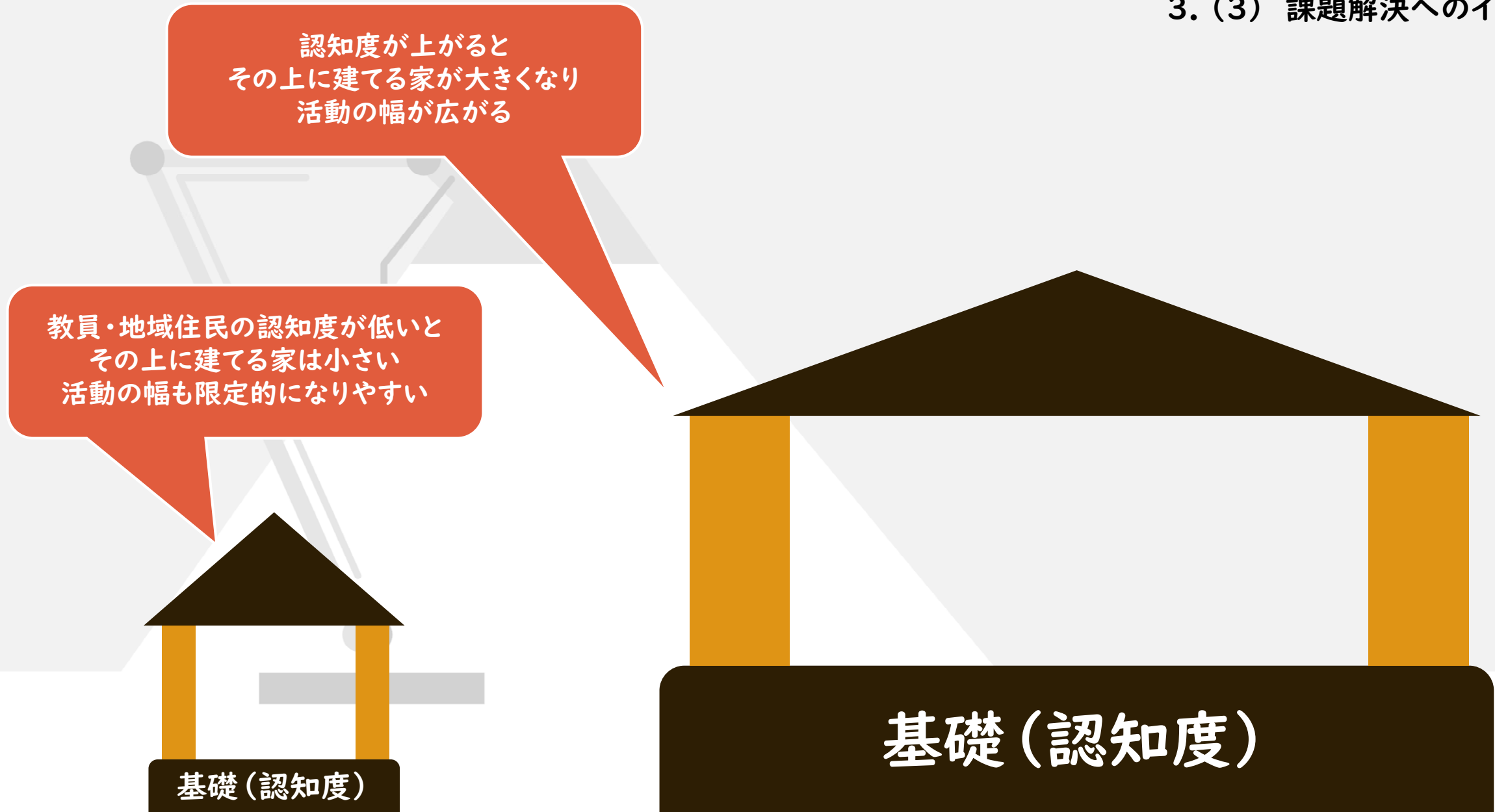
→今の学校運営に必要不可欠なものという認識

④各校へ訪問型の説明会実施

→現時点での認知度を高めなければ取り組みは進まない

→みんなが知っているという基礎を作り上げる

3. (3) 課題解決へのイメージ①



3. (4) 課題解決へのイメージ②

安定感があるとさらに
大きな家になるので
多くの人材やアイデアが生まれる

教員・地域住民の認知度が低いと
その上に建てる家は小さい
活動の幅も限定的になりやすい



基礎（認知度）



2年計画で教員の認知度100%をめざす
※ゴールではなく通過点の1つ

中高生は自分の母校にできること
子どもの縦のつながりを強化

保護者は自分の子どもが
進学する学校でできること
コーディネーターが望む層の獲得に向けて

中高生から
未就学児の保護者がメイン

3. (5) 今後の取組(例)

課題①②④

退職後の活力や
新たなコミュニティの形成

地域人材の発掘

地域住民を対象にした共育コミュニティお茶会

ねらい①共育コミュニティを知ってもらう

ねらい②自分ができることを考えてもらう

ねらい③自分の家族ができることを考えてもらう

ねらい④自分の友達ができることを考えてもらう

ねらい⑤お茶会でコミュニティを広げてもらう

学校と地域が〇〇でつながると良いねを話し合ってもらう

実現できるかどうかは置いて
「わくわくすること」をみんなで話し合う

各校でのデータを集約して行政で作る
※各校でのデータ集約に課題
→教頭がまとめる？
→教員がその都度入力していく？
→コーディネーターの役割？

3. (6) 今後の取組(例)

課題②③

さらに各校の取組を知ることできる
→身近な事例の共有

ボランティア一覧表の作成

学校・学年・教科・ボランティアの方の氏名・活動内容

例：〇〇小・4年・理科・橋本太郎・畑作り

活用することで

つながりたい方を見つけやすくなる

教員の情報交換ツールとしての
活用だけでなく
行政側も活動を把握できる

身近なものではない事例には
共感を生み出すことが難しく
活動にはつながりにくく感じる

3. (7) 今後の取組(例)

課題②③

活動を行き来することにより
教員間でのつながり・コミュニティが
生まれる可能性もある

Teamsを活用したリアルタイムな情報共有

身近な事例を簡単にリアルタイムで共有

事後型

〇〇小 5年 総合的な学習の時間

田植えに関わってくれた方に来ていただき報告会を実施しました

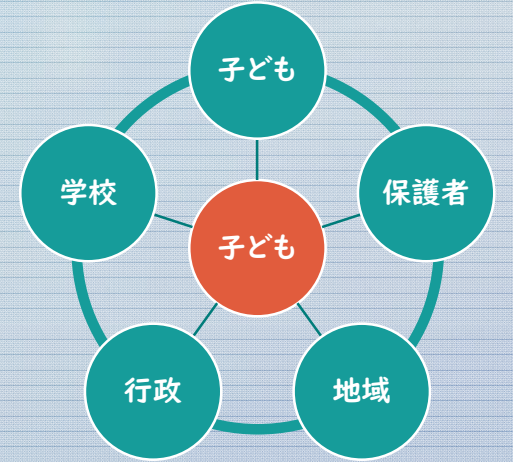
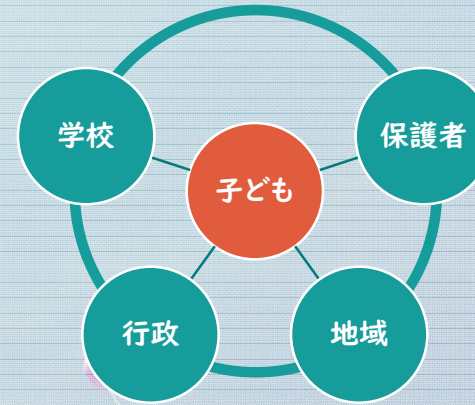
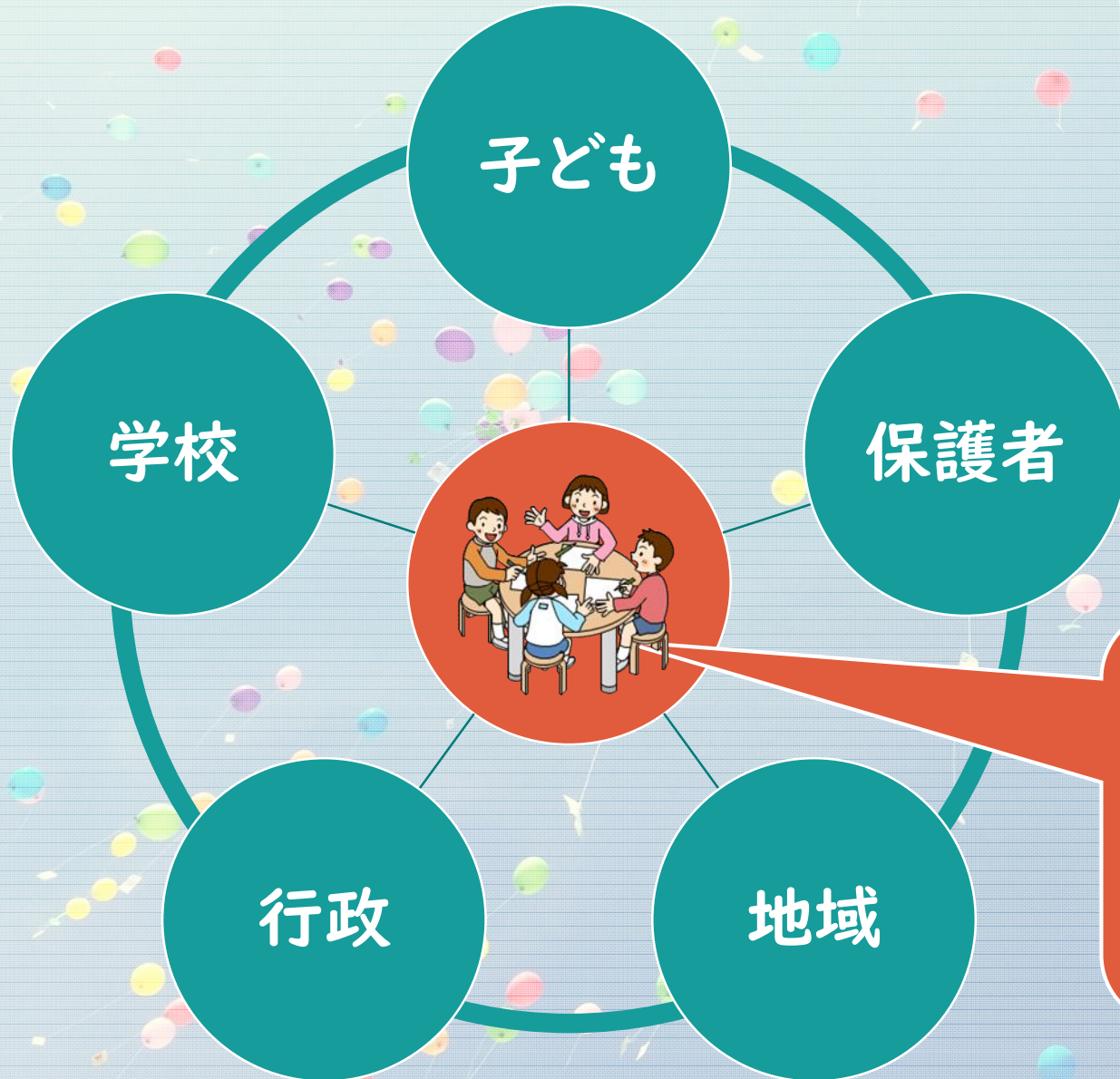
事前型

5月20日(火) 〇〇小 5年 総合的な学習の時間

田植えに関わってくれた方に来ていただき報告会を実施します 興味のある方は是非

持続可能な社会の創り手を育む教育に向けて

～人が学び合い、共に育むまちづくりの実現に向けて～



△子どもと子どものつながり「なし」 ○子どもと子どものつながり「あり」

行政・学校
子ども・保護者・地域
それぞれが主体となって
関わりあうことで
目標の実現に向かっていける

行政として
教員として
保護者として
地域住民として
共育コーディネーターとして
学校運営協議会委員として
etc.

共育コミュニティも…

コミュニティ・スクールも…

ESDも…

それぞれがそれぞれの立場で自分事として捉える

→取り組みは加速度的に進む可能性大

ご清聴ありがとうございました

